

山ぼうし

第9号 平成17年12月22日 発行

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし 
の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。

「新しい希望の年に向かって」

校長 及川 敏昭

早いもので、今年も残りわずかとなりました。師走入りに合わせるように例年にない寒波で日本海側を中心に各地に記録的な大雪と被害をもたらしています。いよいよ冬本番の季節を迎えました。

さて、いよいよ明日より1月の11日（水）まで、学校は冬季休業になります。数えてみましたら土曜、日曜を入れると20日間ありました。普段こんなに長く休めるのは人生の中ではあまりありません。病気をしたときとか、失業したときとか、定年退職をした時ぐらいです。貴重な冬休みですので、それぞれ有意義にそして充実した日々を過ごして欲しいと思います。

特にも3年生は高校生活最後の冬休みです。あと3ヶ月すれば社会人になります。この長い冬休み期間中、自分はどんな過ごし方をして何をしなければならぬのか、よく考えながら一日一日を大切に過ごして下さい。

くれぐれも、「朝寝、夜更かし、テレビ付け」で20日間の冬休みを過ごし、休みが終わった時に、「さて、自分はこの休み期間中なにをやっていたのだろうか。」と後悔しないように過ごして頂きたいと思います。そして、部活動でも、勉強でも、読書でも何でも良い、これだけはやり通したという充実感を必ずひとつは体験してきてほしいと思います。

学校を卒業して社会に出て特に感じることは、学生時代は長い休みがあって楽しかったなと思うことです。長い休みでなけれ

ば出来ないことやさまざまな体験や貴重な思い出づくりを数多くやっておけば良かったなど今になって思うことがあります。

私達は自ら進んで質の高い良い経験を求めなければ、人として成長できないものなのです。新しい年に向かってさらに大きく成長するためにも、質の良い数多くの体験をぜひ実行してみてください。

この冬季休業は、1年の終りと新しい年の始めという1年間の区切り、節目の休みです。是非この期間に自分が過ごしたこの1年を静かに振り返り、自分はどれくらい成長したのか、自分は目標に向けて一生懸命に努力したのだろうか、何か足りなかったことは無かったのだろうかということをはっきりさせて、新しい年への目標にしっかりとつなげてほしいと思います。

学校はしばらく休みになり、生徒の皆さん方は年末と年始の間、家庭や地域で生活を送ってもらうこととなります。今年1年を静かに反省し、そして新しい年に向かって大きく羽ばたけるように心の充実を図ってもらいたいと思います。

冬休み明けの新しい年には、全員が事故も怪我もなく心身ともに大きく成長し、新た決意と充実感みなぎらせて元気に登校してくることを期待します。

1月行事予定

1月 5日（木）～ 6日（金）
1月12日（木）
1月19日（木）
1月24日（火）
1月25日（水）
1月26日（木）
1月27日（金）～ 31日（火）
1月31日（火）～ 2月2日（木）

ガス溶接講習
授業始め式、休み明け試験
定例職員会議、服装検査
情報技術検定
ジュニアマイスター申込締切
大掃除、県工業クラブ発表会
宮古地区高校芸術展
工業高校生協議会



修学旅行

12月3日(土)～7日(水)まで、2学年の関西方面への修学旅行であった。出発当日から区界は一面雪景色であったが、まさか京都・大阪まで強い寒波に覆われているとはこの時は全く予想していなかった。

旅行一日目は、全般的に天候に恵まれた。バスで盛岡駅まで行き、新幹線に乗り換え京都へ向かい、その後私鉄で奈良に入った。

二日目はあいにくの雨。その日は朝宿を出発してから午後まで奈良公園を徒歩でまわる



という予定で、生徒たちは雨のなかを傘をぶつけあいながら、シカを尻目にただ黙々と歩い

ているようであった。しかしなかには荘厳な東大寺南大門・金剛力士像や大仏の前で足を止め、たずみ深く考え、ガイドの話に真剣に耳を傾け深く頷く者など、見学地でさまざまな事を感じ、学んだ者も多かったようである。3日目は、兵庫県東条湖のホテルを各クラスごとに出発しそれぞれ企業見学を行った後、昼過ぎにユニバーサルスタジオジャパンで合流するという日程であった。企業見学は本校の特色を活かした旅程のひとつで、実際に工場や高層ビル、企業のパビリオンなどを見学した生徒は刺激を受け、それぞれの専門分野について知識と理解を深めることができた。ユニバーサルスタジオジャパンでは、冷たい潮風の吹きつける寒空のなか、仲間同士



思い出に残る楽しいひとときを過ごしたようである。4日目、みぞれの清水寺

を皆で急ぎ足で見学し各クラスのグループごとに自主研修に入った。生徒たちは出発



前に放課後等の時間を利用し、グループごとにプランを立て事前学習を深めてきた。滅多に見ることのできない雪の金閣寺を見学し感銘を受ける者などグループごとに有意義な研修となった。

五日間の旅行中、雨と寒さのため体調を崩し、見学地には行かず宿での療養を余儀なくされる生徒が多かった。元気な生徒たちは、移動の際に体調の悪い仲間の大きな荷物を両脇に抱え、見学できなかった生徒のためにお土産を買ってきてあげるといった場面があった。彼らの心優しい一面が垣間見られたような気がする。今回の旅行は、生徒全員が万全の健康状態ではなく、一言で「楽しかった」というものではなかったかもしれない。それ



でも、楽しい時にはともに喜びを分かち合い、困難な事態に際しては友人同士手をさしのべ助け合う、そのような中で生徒たちは多くの事を学び忘れられない意義深い旅行になったものと感じている。今回の旅行を経験し、生徒たちがまた一回り成長することを期待する。

*修学旅行に際し、保護者の方々をはじめ多方面からのご理解・ご協力をいただき、無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。